

# 公民館のあり方は

活動の衰退を招かない組織づくりを検討

## 質

住民の意識や価値観が多様化している今日、公民館事業の必要性を感じている。

社会教育団体の活動状況と、行革プランでは公民館や支所の統廃合が計画されているが、今後の公民館事業のあり方を伺う。

## 答

教育長

社会教育団体は6団体あるが、会員の減少や役員のなり手がいないなどでその活動は縮小しており、ひと頃のよう活動は見られません。

本来、社会教育団体が主体性を持って活動

を維持発展させるべきだが、対象者への学習機会の提供や「人づくり塾(仮称)」などを検討してまいりたいと考えています。

公民館活動については、行革を進める中、職員の削減も視野に入れ組織を検討しなければなりません。

しかしながら、社会教育の振興や生涯学習が地域活性化に多大な貢献をしているので、各町の公民館は存続すべきで、公民館活動の衰退を招かない組織づくりが重要だと考えています。  
また、自治公民館活動の充実を図るため、地域担当職員制度を活用してまいりたいと考えています。



中央公民館子ども教室 (三重町)



## 狩猟期間中も補助を

～近隣市と共に検討する～

## 質

有害鳥獣対策としては、捕獲が最も有効手段である。

狩猟期間中の捕獲物に対する補助金の支給と、猪に対する補助額のアップは考えられないか。

## 答

市長

いずれも近隣自治体と連携しながら、今後検討してまいります。

# 住民の暮らしは

## ～庁舎建設と並行して～



こうじな ひろ  
神志那 文 寛

**質** 「39億円の複合型庁舎建設」の何を見直したのか。

**答** 市長 「自分たちの館やたは自分たちで造る」という考えから、基本構想の策定を地元建築士会にお願いしました。また、消防本部を別の場所に建設することとしました。

**質** 総額費用36億円の根拠はどのようなものか。

**答** 市長 本体工事費の33億円は、延べ床面積1万1000平方メートルに1㎡あたり30万円の計画でした。この1㎡あたりの単価をできるだけ下げることにより、総額36億円以下おさに抑えたいと考えています。

**質** 学校耐震化の推進、国保税や介護保険料・利用料の引き下げ、三重診療所の充実、支所機能の充実など、住民の暮らしに直接係る施策は充分か。

**答** 市長 庁舎建設と並行して、可能な限り積極的に取り組んでまいります。

**質** 消防庁舎は旧三重高校跡地のテニスコートで計画中的ようだが、適切な場所なのか心配される。

三重川増水時の冠水かんすい、大地震時の液状化現象や橋の崩壊による孤立がありえるのではないかと。市内全域への迅速な対応が可能な場所か。今後計画されるドクタ・ヘリに対応したヘリポートを建設できるか。

**答** 消防長 旧三重高校テニスコートは経済性を含めて、市内全域での迅速な災害対応と、三重町の人口密集地での火災に対応が可能な場所と考えています。ヘリポートの建設につきましても、費用対効果の観点からも建設を見送ったところがございます。



消防庁舎建設予定地